



A

addQuota 7-11
addSubscriberQuota 7-6, 7-7

C

C/C++ API でのエラー コードの管理 7-15
Cisco サービス コントロールの概念 1-2
CLI (コマンドライン インターフェイス) 1
Collection Manager 3-3
Collection Manager (CM) 1

G

getRemainingQuota 7-11
getSubscriberQuota 7-7

J

JAR ファイル 5-3
Java API での例外の管理 7-15

P

PQI (Service Control インストラクション) ファイル 1
pull モード 6-5

Q

QP API (C) のコード例 7-13
QP API (C) のメソッド 7-11
QP API (Java) のコード例 7-9
QP API (Java) のメソッド 7-6
Quota Provisioning API 7-1
Quota Provisioning API のエラー コード 7-15

R

RDR
違反によるトリガー 5-15, 5-18
RDR (Raw Data Record) 1
Reporter CLI 8-1
Reporter CLI の概要 8-2
Reporter アプリケーション
構文と使用法 8-2
コマンド ファイルでの構文 8-4
コマンド ファイルでの使用法 8-4
コマンドライン オプション 8-3
コマンドラインでの構文 8-2
コマンドラインでの使用法 8-2

S

SCAS API のベース クラス 5-3
SCAS BB
Console 2-7
Reporter 3-7
機能 3-2
コンポーネント 2-2
ソリューション 2-1
論理エンティティ 4-2
SCAS BB Console 2-7, 1
SCAS BB サービス コンフィギュレーション API 2-8
SCAS BB ライセンス 3-4
SCAS Reporter CLI 3-6
SCAS Service Configuration API によるサービス コンフィギュレーションの管理 5-5
SCAS クライアント / サーバの接続 5-3
SCAS ライブラリの組み込み 5-3
SCE プラットフォーム 1-3, 2-2, 3-2
RDR のトリガー 3-7
SCE プラットフォームへの接続 5-4
SCE (Service Engine) プラットフォーム 1

Service Configuration API 3-6, 5-1
 プログラミング ステップ 5-2
 Service Configuration API の概要 5-2
 Service Configuration ユーティリティ 2-8
 Service Control アプリケーション 1
 setQuota 7-12
 setSubscriberQuota 7-8
 SLI (SML Loadable Image) ファイル 1
 SM 3-3
 全般的な機能 6-4
 smartSUB Manager 3-3
 smartSUB Manager (SM) 2
 SM の全般的な機能 6-4

T

TAC Web サイト xvii
 TAC プライオリティの定義 xviii
 TAC レベル情報の参照 xvii

あ

アグリゲーション 5-17
 アップストリーム トラフィック 2
 アノニマス サブスクライバ モード 2-4, 6-3, 2

い

違反 5-15
 違反レポート 5-18
 インライン接続モード 2

え

エラー コードと例外処理 7-15

か

開発者のためのシステム アーキテクチャ 3-1
 外部 Quota Provisioning API のインストール 7-5
 外部クォータ プロビジョニング 7-2
 外部クォータ プロビジョニングに対応するサービス コ
 ンフィギュレーション 7-2
 概要 1-1
 関連資料 xvi

き

起動側 4-6
 基本コンポーネント 3-2

く

クォータ 2
 クォータ バケットの状態 7-3
 クォータ プロビジョニングのライフサイクル 7-4
 グローバル コントローラ 4-9, 2

こ

構文 7-6, 7-7, 7-8, 7-11, 7-12
 構文と使用法 8-2
 コマンドファイルでの構文 8-4
 コマンドファイルでの使用法 8-4
 コマンドライン オプション 8-3
 コマンドラインでの構文 8-2
 コマンドラインでの使用法 8-2

さ

サービス 2
 作成 5-12
 例 4-3
 サービス エレメント
 構成 4-3
 定義 5-12
 サービス エレメントの定義 5-12
 サービス コントロール ソリューション 2-1
 サービス コントロール機能 1-2
 サービス コンフィギュレーション 2-7, 4-3, 2
 グローバル コントローラ 4-9
 構成 4-3
 作成 5-12
 取得 3-7
 適用 3-7
 サービス コンフィギュレーション エンティティ 4-
 1
 サービス コンフィギュレーションのインポート、エク
 スポート、および作成 5-6
 サービス コンフィギュレーションの取得および適用
 5-5

- サービス コンフィギュレーションへのサービスの追加 5-12
 - サービス ルール 2
 - サービス ルールの定義 5-15
 - サービスおよびサービス エレメント 4-3, 5-10
 - サービスの作成 5-12
 - サブスクリイバ 2
 - サブスクリイバクォータ バケット 4-10
 - サブスクリイバステート 6-6
 - サブスクリイバモード 6-2
 - 要約 2-6, 6-2
 - サブスクリイバモード — 要約 2-6
 - サブスクリイバ BW コントローラ 4-9
 - サブスクリイバ BW コントローラ (帯域幅コントローラ) 3
 - サブスクリイバウェア モード — ダイナミック サブスクリイバ 2-5
 - サブスクリイバおよびサブスクリイバモード 2-4
 - サブスクリイバ起動トランザクション 3
 - サブスクリイバ統合 6-1
 - CNR (DHCP) プラグイン 6-6
 - PRPC プロトコル 6-6
 - サブスクリイバレス モード 2-4, 6-3, 3
- し**
- 時間ベース ルール 3
 - シグニチャ 3
 - システム
 - コンポーネント 2-2
 - システム コンポーネント 2-2
 - 受信専用接続モード 3
 - 情報フロー 3-7
- す**
- スタティック サブスクリイバモード 2-5
 - スタティック サブスクリイバウェア モード 6-4, 3
- せ**
- 制限事項 7-5
 - セッション (別名トランザクション) 3
 - 説明 7-6, 7-7, 7-8, 7-11, 7-12
- た**
- 帯域幅コントローラ 5-17
 - 対象読者 xiii
 - ダイナミック サブスクリイバウェア モード 3
 - ダイナミック サブスクリイバウェア モードと smartSUB Manager (SM) 6-4
 - ダイナミック シグニチャ 4-5, 3
 - ダウンストリーム トラフィック 3
- て**
- データ コレクタ 3-3
 - テクニカル サポート xvii
 - デフォルトの時間枠と非デフォルトの時間枠 5-18
- と**
- 統合の必要性と意義 3-2
 - 統合ポイント 3-6
 - トラフィック ディスカバリ レポート 4
 - トランザクション (別名セッション) 4
- ね**
- ネットワーク起動トランザクション 4
- は**
- はじめに xiii
 - パッケージ 4-8, 5-13, 4
 - パッケージの作成およびパッケージ名の設定 5-15
 - パラメータ 7-6, 7-7, 7-8, 7-11, 7-12
- ひ**
- 表記法 xvi
- ふ**
- フィルタ ルール 4
 - フラット ファイル 3-6
 - ブロックおよびリダイレクト 5-20
 - プロトコル 4-5, 5-8
 - 主要事項 4-5

定義 5-8
プロトコルの定義 5-8
プロトコルへのポートの追加 5-9

ま

マニュアル
構成 xv
マニュアルの構成 xv

も

目的 xiv
戻り値 7-6, 7-7, 7-8, 7-11, 7-12
モニタリング レポート 4

り

リアルタイム サブスクリバ使用状況モニタリング
4
リスト 4-6, 5-6, 4
取得 5-7
タイプの判別 5-7
ナビゲート 5-7
要素の追加 5-8
リストアレイの取得 5-7
リストアレイのナビゲート 5-7
リストアレイへの要素の追加 5-8
リストのタイプの判別 5-7

る

ルール 4-7

れ

例 — FTP サービス ルール 5-15
例 — サービスの追加とサービス コンフィギュレーションの適用 5-21

ろ

論理エンティティ 4-2